

平成24年度 収支計算書

(自平成24年10月25日 至平成25年3月31日)

一般会計

(単位:円)

支出の部		収入の部	
科目	金額	科目	金額
1. 事業費	0	1. 基本財産運用収入	0
(1)脚本賞発表会費	0	基本財産利息収入	0
(2)その他費用	0	2. 会費・寄付金収入	15,350,000
2. 管理費	2,823,797	寄付金収入	15,350,000
給料手当	216,800	3. 事業収入	0
広告宣伝費	147,000	(1)脚本賞発表会収入	0
発送配達費	106,221	(2)その他収入	0
旅費交通費	122,300	4. 雑収入	40,431
通信費	149,182	受取利息収入	431
リース料	48,300	雑収入	40,000
地代家賃	265,000		
水道光熱費	27,795		
印刷製本費	137,656		
会議費	75,114		
消耗品費	368,005		
租税公課	600		
顧問料	84,000		
新聞図書費	8,890		
支払手数料	31,980		
雑費	14,490		
創立費償却	1,020,464		
合計	2,823,797	合計	15,390,431
		当期収支差額	12,566,634
次期繰越資金	12,566,634	前期繰越資金	0
総計	15,390,431	総計	15,390,431

貸借対照表

(平成25年3月31日現在)

一般会計

(単位:円)

資 産 の 部		負債及び正味財産の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
現 金	15,173	未払金	82,189
普通預金	6,390,650		
定期預金	8,000,000		
仮払金	1,200,000	負債合計	82,189
敷金	43,000		
		基本財産	3,000,000
		当期における正味財産増加額	12,566,634
		正味財産	15,566,634
資 産 合 計	15,648,823	負債及び正味財産合計	15,648,823

正味財産増減計算書

(自平成24年4月1日 至平成25年3月31日)

(単位:円)

科 目	一 般 会 計	特 別 会 計	合 計
増加資産の部			
当期収支差額	12,566,634	0	12,566,634
増加額合計	12,566,634	0	12,566,634
当期正味財産増加額	12,566,634	0	12,566,634
前期繰越正味財産額	0	0	0
基本財産	3,000,000	0	3,000,000
期末正味財産合計額	15,566,634	0	15,566,634

財 産 目 録

(平成25年3月31日 現在)

一般会計


(単位:円)

科 目	摘 要	金 額	科 目	摘 要	金 額
1. 現 金	手許現金有高	15,173	1. 未払金	事務局諸経費	82,189
2. 普通預金	みずほ銀行 広尾支店	88,652			
	三井住友銀行 広尾支店	2,380,891			
	十八銀行 諫早支店	3,921,107			
3. 定期預金	三井住友銀行 広尾支店	8,000,000			
4. 仮払金	脚本賞審査 倉内均他3名	200,000			
	長崎祝賀会費用	1,000,000			
5. 敷金	事務所敷金	43,000	負債の部合計		82,189
			差引正味財産 (内、基本財産)		15,566,634 (3,000,000)
合 計		15,648,823	合 計		15,648,823

監査報告書

平成 25 年 6 月 13 日

一般財団法人 市川森一脚本賞財団
理事長 福地 茂雄 殿

一般財団法人 市川森一脚本賞財団
監事 片山 安夫 

私は、一般財団法人市川森一脚本賞財団の平成 24 年 10 月 25 日から平成 25 年 3 月 31 日までの、平成 24 年度における理事の職務の執行に関する監査を行い、次のように報告する。

報告

監査の方法の概要

- (1) 業務については、理事会およびその他重要な会議に出席し、理事および事務局からの業務報告を聴取し、関係書類の閲覧等必要と思われる監査手続きを用いて、業務の妥当性を検討した。
- (2) 会計については、帳簿並びに関係書類の閲覧など、必要と思われる監査手続きを用いて、計算書類等の正当性を検討した。

監査意見

- (1) 事業報告は、法令および定款に従い、法人の状況を正しく示している。
- (2) 理事の職務の執行に関する不正行為、法令や定款に違反する重大な事実はない。
- (3) 計算書類（正味財産増減計算書および貸借対照表）、およびその付属明細書並びに財産目録は、会計帳簿の記載金額と一致し、法人の財産および損益の状況を正しく示している。

以上

「市川森一脚本賞財団」平成24年度事業実施報告

- ・24年初夏、設立発起人の高橋康夫、渡辺紘史、市川美保子らにより、財団設立に向けての諸準備が本格的に始動する。
- ・9月21日（金）、準備事務局を六本木に構える。33名の設立賛同人を得て、25日（火）より、発起人らの知人友人関係団体あてに、設立趣意書を発送し財団設立の基本財産出資金を募る。
- ・10月、設立時の財団役員が確定し、一般財団法人「市川森一脚本賞財団」の定款を作成、それを以て登記申請し、25日（木）財団は正式に設立された。
- ・11月1日（木）、六本木の準備事務局から、世田谷区北沢4丁目に財団事務局を移転し、事務局機能を整備する。11月中旬、財団のEメールアドレスとホームページアドレスが確定し、27日（火）にはHPがオープンする。
- ・12月12日（水）13時より、第1回理事会を開き、理事長福地茂雄の挨拶の後、財団設立の概要、経過説明があり、24年度の事業計画案と収支予算案が承認される。
- ・2月4日（月）、脚本賞の選考委員長に指名された菅野より、リストアップされた脚本賞の候補者10名が理事の高橋、渡辺、市川らで合議の上、候補者6名に絞られる。
- ・2月13日（水）、選考委員4名が決まる。倉内均（アマゾンテルナ）、内山聖子（テレビ朝日）、次屋尚（日本テレビ）、森安彩（共同テレビ）。
- ・2月19日、20日、選考委員に、脚本賞の趣旨と選考方法のすりあわせをする。
- ・3月17日（日）15時より、市川森一脚本賞の選考会を開き、慎重審議の結果、第1回の受賞候補者が大島里美に内定。
- ・3月21日（木）15時より、臨時理事会を開き、25年度の収支予算案と事業計画案の説明および、第1回脚本賞の審査経過報告が承認され、大島里美が受賞者と決まる。なお、受賞対象作品はNHK名古屋局制作の「恋するハエ女」（29分枠・連続6回）である。さらに受賞式とパーティーおよび長崎祝賀会の概要が報告される。引きつづき16時より、臨時評議会を開かれ、理事会報告の後に、評議員の林敏幸より、長崎祝賀会の準備状況が報告される。

<平成25年度>

- ・4月9日（火）14時、NHK放送センター内の記者クラブで、第1回受賞者の発表と大島里美の会見が行われる。
- ・4月22日（月）17時半、千代田放送会館で受賞式が開かれる。受賞対象作品に出演した笈利夫、制作の土屋勝裕、演出の福井充広、東山允裕が出席。大島里美を囲んで制作秘話が語られる。引きつづき祝賀パーティーが開かれ、参加者は200名。
- ・4月24日（木）長崎県立博物館で、市川森一脚本賞長崎祝賀会実行委員会による、受賞作品の報告会と祝賀パーティーが開かれる。報告会では、大島里美、「恋するハエ女」出演のミムラ、制作演出のNHK名古屋局のスタッフとでミニシンポジウムが開催される。参加者は180名。